

# I 調査結果の概要

# 1 食肉流通の動向

## (1) 豚

### ア 豚のと畜頭数

豚のと畜頭数は1,639万2千頭で、前年に比べ1.8%増加した(図1、表1)。

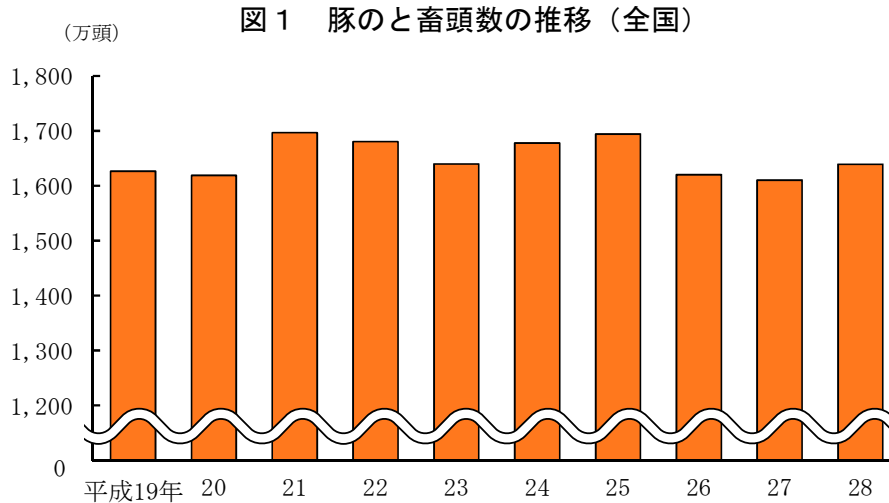


表1 豚のと畜頭数の推移(全国)

区分	単位	平成19年	20	21	22	23	24	25	26	27	28
実数	千頭	16,268	16,192	16,966	16,807	16,395	16,776	16,940	16,203	16,104	16,392
対前年比	%	100.4	99.5	104.8	99.1	97.5	102.3	101.0	95.6	99.4	101.8

注: 対前年比は、原数より算出している(以下各表において同じ。)

### イ 取引成立頭数

豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は13.1%で、前年に比べ0.2ポイント低下した(表2)。

また、食肉卸売市場(中央卸売市場10、指定市場18)における豚の取引成立頭数は214万2千頭で、前年に比べ0.2%減少した。市場別では、中央卸売市場が91万7千頭で前年に比べ1.7%減少したが、指定市場は122万5千頭で前年に比べ0.9%増加した(表3)。

表2 豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年次	全国と畜頭数	食肉卸売市場	割合
		取引成立頭数	
平成27年	千頭	千頭	%
	16,104	2,147	13.3
28	16,392	2,142	13.1

表3 食肉卸売市場における豚の取引成立頭数

区分	単位	計	中央卸売市場	指定市場
			取引成立頭数	取引成立頭数
平成27年	千頭	2,147	933	1,214
28	〃	2,142	917	1,225
対前年比	%	99.8	98.3	100.9

## ウ 豚肉の卸売価格（1 kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における豚肉の規格別卸売価格は、「極上」が600円で0.2%上昇したが、「上」が528円、「省令」が528円、「中」が506円、「並」が467円及び「等外」が338円で、前年に比べそれぞれ5.7%、5.7%、6.1%、6.6%、4.0%低下した（表4）。

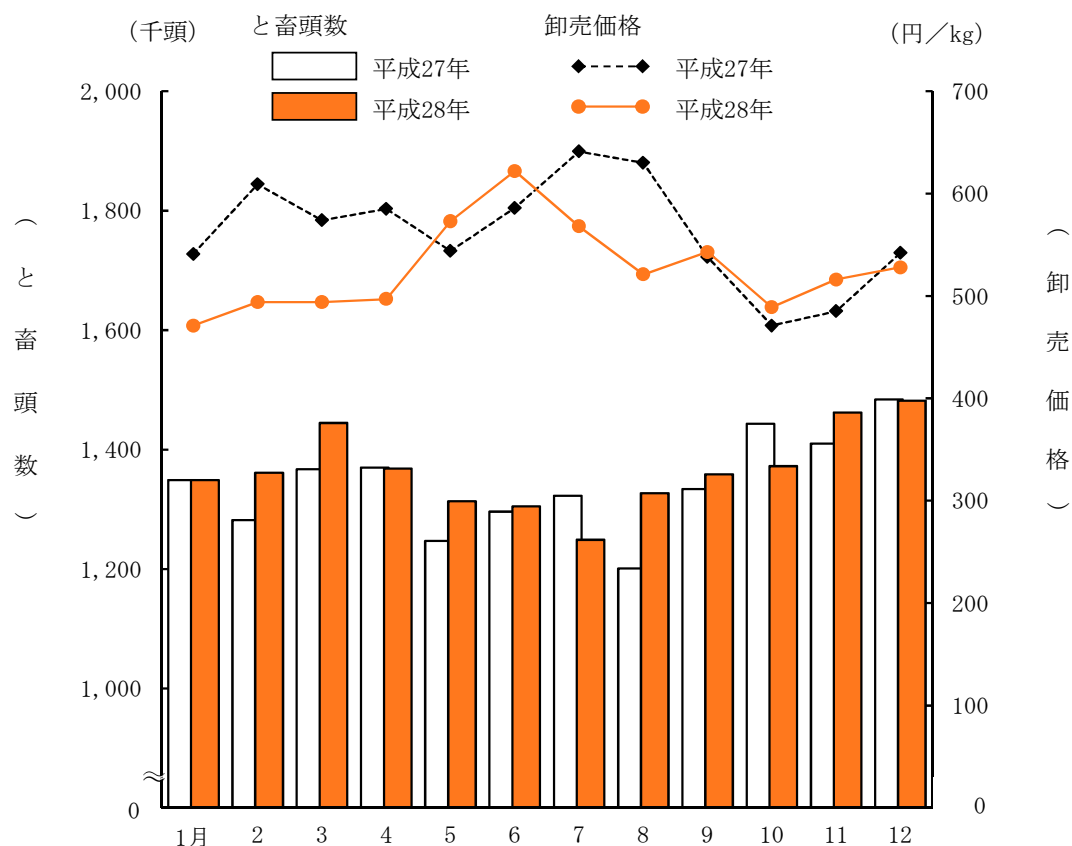
また、月別の卸売価格（省令）は、5月、6月及び9月～11月は前年を上回り、その他の月は前年を下回って推移した（図2）。

表4 豚肉の規格別卸売価格

区分	単位	極上	上	1)省令	中	並	等外
平成27年	円/kg	599	560	560	539	500	352
28	〃	600	528	528	506	467	338
対前年比	%	100.2	94.3	94.3	93.9	93.4	96.0

注：1)は、「極上」及び「上」を合わせたものである。

図2 豚の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



## (2) 牛

### ア 成牛のと畜頭数

成牛のと畜頭数は104万6千頭で、前年に比べ5.0%減少した。

このうち、和牛は44万4千頭、乳牛は36万6千頭で前年に比べそれぞれ8.0%、4.7%減少したが、交雑牛は22万4千頭で、前年に比べて1.1%増加した。

成牛の種類別と畜頭数の構成割合をみると、和牛は42.5%で前年に比べ1.3ポイント低下したが、乳牛は35.0%、交雑牛は21.4%で前年に比べそれぞれ0.1ポイント、1.3ポイント上昇した（図3、表5）。

図3 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

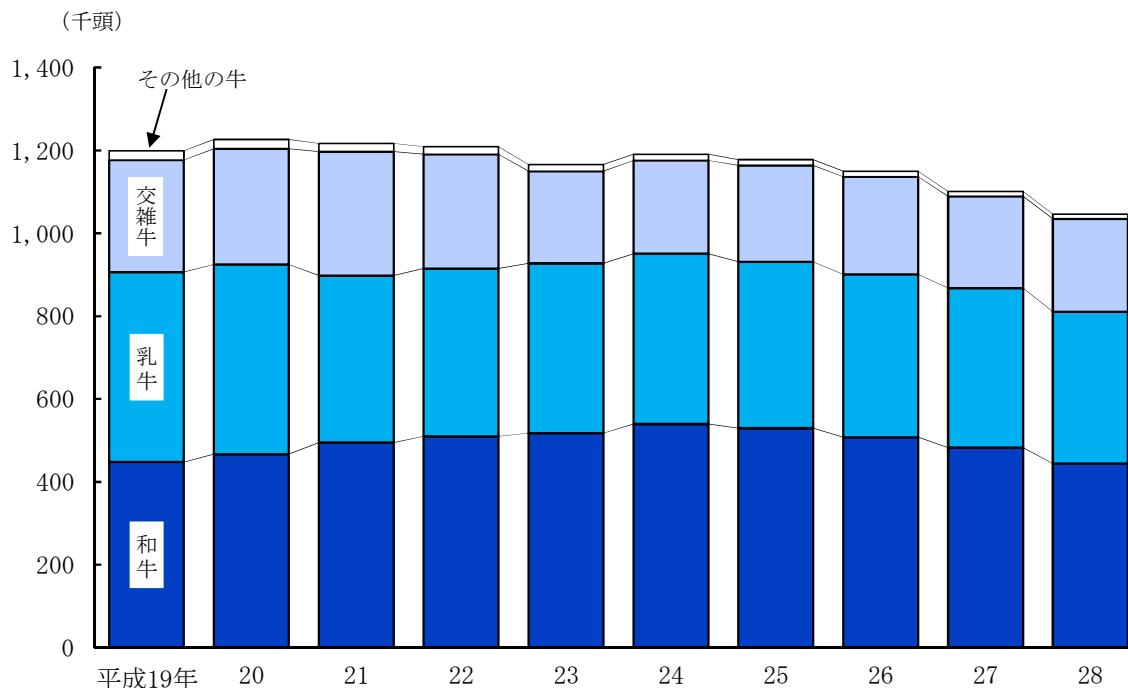


表5 成牛の種類別と畜頭数の推移（全国）

区分	単位	平成19年	20	21	22	23	24	25	26	27	28
と畜頭数											
成牛計	千頭	1,199	1,227	1,217	1,209	1,166	1,191	1,178	1,150	1,101	1,046
和牛	〃	448	467	495	510	518	540	530	507	483	444
乳牛	〃	458	458	403	405	410	411	401	393	385	366
交雑牛	〃	271	280	299	276	222	225	233	236	222	224
その他の牛	〃	22	22	20	18	16	15	14	13	12	11
対前年比											
成牛計	%	99.2	102.3	99.2	99.4	96.4	102.1	98.9	97.6	95.8	95.0
和牛	〃	99.6	104.3	105.9	103.1	101.5	104.3	98.1	95.8	95.1	92.0
乳牛	〃	95.8	99.9	88.1	100.4	101.3	100.3	97.6	98.0	97.8	95.3
交雑牛	〃	103.3	103.3	107.0	92.2	80.6	101.1	103.5	101.4	94.1	101.1
その他の牛	〃	114.6	101.0	88.9	92.9	86.9	93.4	96.0	93.5	91.5	89.4
構成比											
成牛計	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
和牛	〃	37.3	38.1	40.7	42.2	44.4	45.3	45.0	44.1	43.8	42.5
乳牛	〃	38.2	37.3	33.1	33.5	35.2	34.5	34.1	34.2	34.9	35.0
交雑牛	〃	22.6	22.8	24.6	22.8	19.1	18.9	19.7	20.5	20.1	21.4
その他の牛	〃	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1

注：1 割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである（以下各表において同じ。）。

2 構成比は、原数（Ⅱ統計表における表章単位）より算出している（以下各表において同じ。）。

## イ 取引成立頭数

成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は32.5%で、前年に比べ1.3ポイント低下した（表6）。

また、食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の取引成立頭数は34万頭で、前年に比べ8.7%減少した。

市場別では、中央卸売市場は25万4千頭、指定市場は8万5千頭で前年に比べそれぞれ8.1%、10.6%減少した。畜種別では、和牛は17万9千頭、乳牛は5万5千頭、交雑牛は10万5千頭で、前年に比べそれぞれ11.4%、12.6%、1.1%減少した（表7）。

表6 成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年次	全国と畜頭数		割合
	千頭	食肉卸売市場 取引成立頭数 千頭	
平成27年	1,101	372	33.8
28	1,046	340	32.5

表7 食肉卸売市場における成牛の取引成立頭数

区分	単位	計	市場別		畜種別			
			中央卸売市場	指定市場	和牛	乳牛	交雑牛	その他の牛
平成27年	千頭	372	276	96	202	63	106	1
28	〃	340	254	85	179	55	105	0
対前年比	%	91.3	91.9	89.4	88.6	87.4	98.9	49.7

注：四捨五入の関係で合計値と内訳の計は必ずしも一致しない（以下、各表において同じ。）。

## ウ 牛肉の卸売価格（1kg当たり平均価格）

食肉卸売市場（中央卸売市場10、指定市場18）における成牛の規格別卸売価格は、「B-1」、「C-5」、「C-2」及び「C-1」規格が前年を下回ったものの、その他の規格は前年を上回った（表8）。

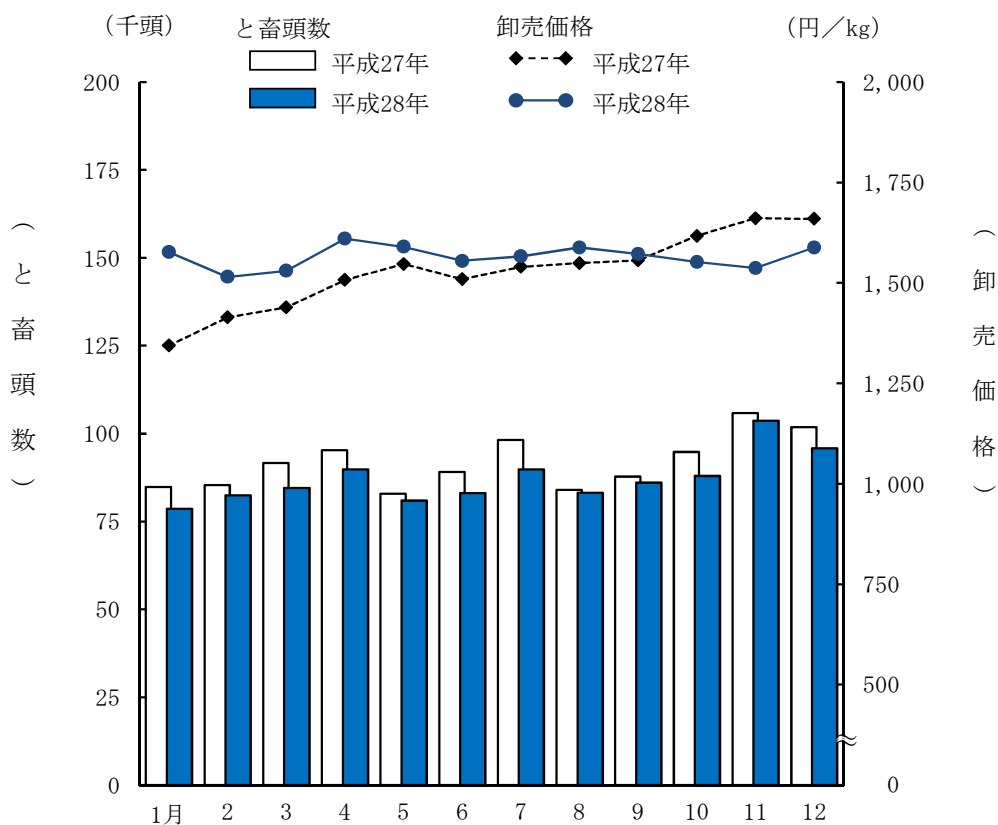
また、省令規格の月別卸売価格は、1月～9月は前年を上回り、10月以降前年を下回って推移した（図4）。

表8 成牛の規格別卸売価格

区分	単位	A-5	A-4	A-3	A-2	A-1	B-5	B-4	B-3	B-2	B-1	C-5	C-4	C-3	C-2	C-1	1)省令
平成27年	円/kg	2,653	2,399	2,148	1,745	1,222	2,356	1,955	1,692	1,399	969	1,946	1,709	1,561	1,127	699	1,530
28	"	2,953	2,638	2,318	1,827	1,263	2,581	2,059	1,746	1,405	966	1,878	1,787	1,595	1,102	624	1,563
対前年比	%	111.3	110.0	107.9	104.7	103.4	109.6	105.3	103.2	100.4	99.7	96.5	104.6	102.2	97.8	89.3	102.2

注：1)は、去勢牛の「B-3」、「B-2」を合わせたものである。

図4 成牛の月別と畜頭数及び卸売価格（省令）（全国）



### (3) と畜場数

全国のと畜場のうち豚を処理したと畜場数は152場、と畜頭数は1,639万2千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、10万頭以上のと畜場数は70場、と畜頭数は1,378万2千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ46.1%、84.1%であった。

また、成牛を処理したと畜場数は133場、と畜頭数は104万6千頭であった。これをと畜頭数規模別にみると、1万頭以上のと畜場数は34場、と畜頭数は66万9千頭で、全体に占める構成割合はそれぞれ25.6%、64.0%であった(表9)。

表9 豚及び成牛のと畜頭数規模別と畜場数及びと畜頭数(全国)

区分	単位	豚					成牛				
		計	19,999頭以下	20,000～49,999	50,000～99,999	10万頭以上	計	999頭以下	1,000～4,999	5,000～9,999	10,000頭以上
と畜場数											
平成27年	場	154	39	22	27	66	137	24	42	33	38
28	〃	152	38	18	26	70	133	23	42	34	34
構成比											
平成27年	%	100.0	25.3	14.3	17.5	42.9	100.0	17.5	30.7	24.1	27.7
28	〃	100.0	25.0	11.8	17.1	46.1	100.0	17.3	31.6	25.6	25.6
と畜頭数											
平成27年	千頭	16,104	165	705	2,040	13,194	1,101	8	127	233	733
28	〃	16,392	145	586	1,879	13,782	1,046	7	127	243	669
構成比											
平成27年	%	100.0	1.0	4.4	12.7	81.9	100.0	0.7	11.6	21.2	66.5
28	〃	100.0	0.9	3.6	11.5	84.1	100.0	0.7	12.1	23.2	64.0

注：当該畜種を処理したと畜場のみの集計値である。

## 2 鶏卵流通の動向

鶏卵生産量は256万2千tで、前年に比べ1.6%増加した。

都道府県別の構成割合をみると、茨城県が7.9%と最も高く、次いで千葉県が6.7%、鹿児島県が6.5%、広島県及び岡山県がそれぞれ5.1%の順となっている（図5、表10）。

また、月別の生産量は1月～6月、8月、9月、11月及び12月は前年を上回り、7月及び10月は前年を下回って推移した（図6）。

図5 鶏卵生産量の推移（全国）

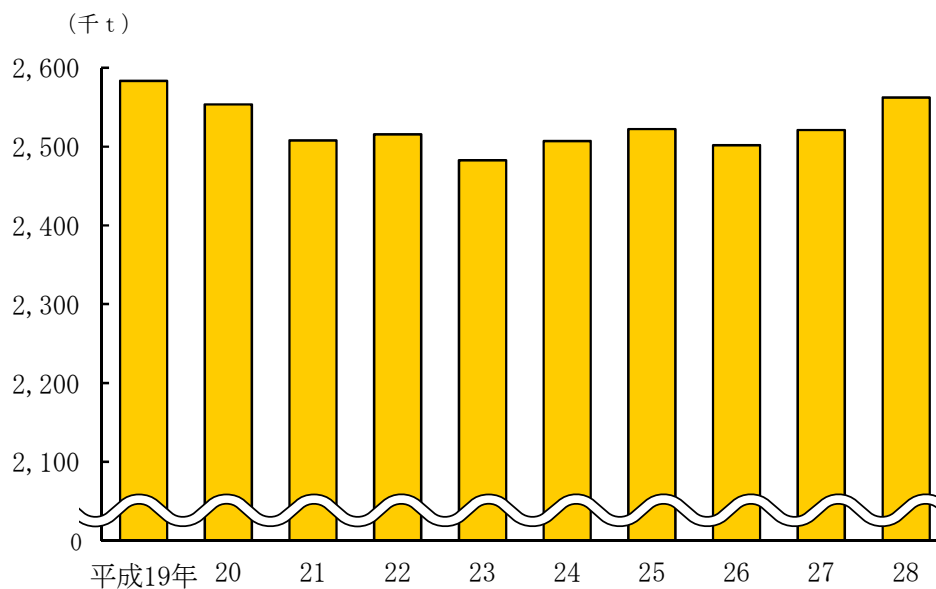
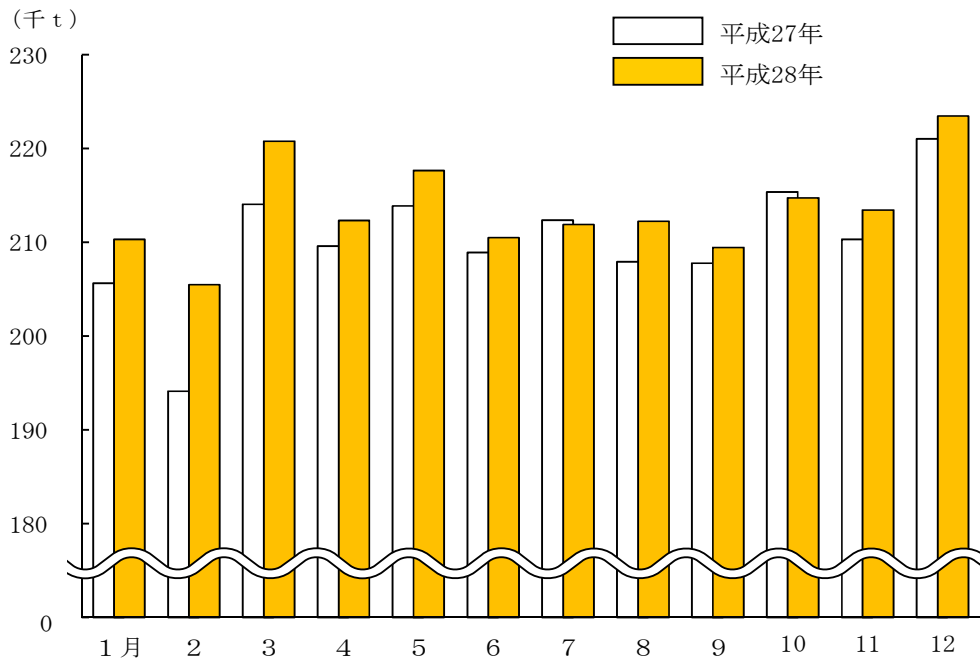


表10 鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

区 分	実 数		対前年比	平成28年 構 成 比
	平成27年	28		
	千t	千t	%	%
全 国 計	2,521	2,562	101.6	100.0
茨 城 県	202	203	100.5	7.9
千 葉 県	174	171	98.0	6.7
鹿 児 島 県	168	167	99.6	6.5
広 島 県	132	132	100.0	5.1
岡 山 県	125	132	105.6	5.1
兵 庫 県	89	116	129.3	4.5
北 海 道	108	104	96.9	4.1
青 森 県	100	102	101.8	4.0
愛 知 県	104	101	97.6	4.0
新 潟 県	96	101	104.8	3.9
そ の 他	1,223	1,234	100.9	48.1

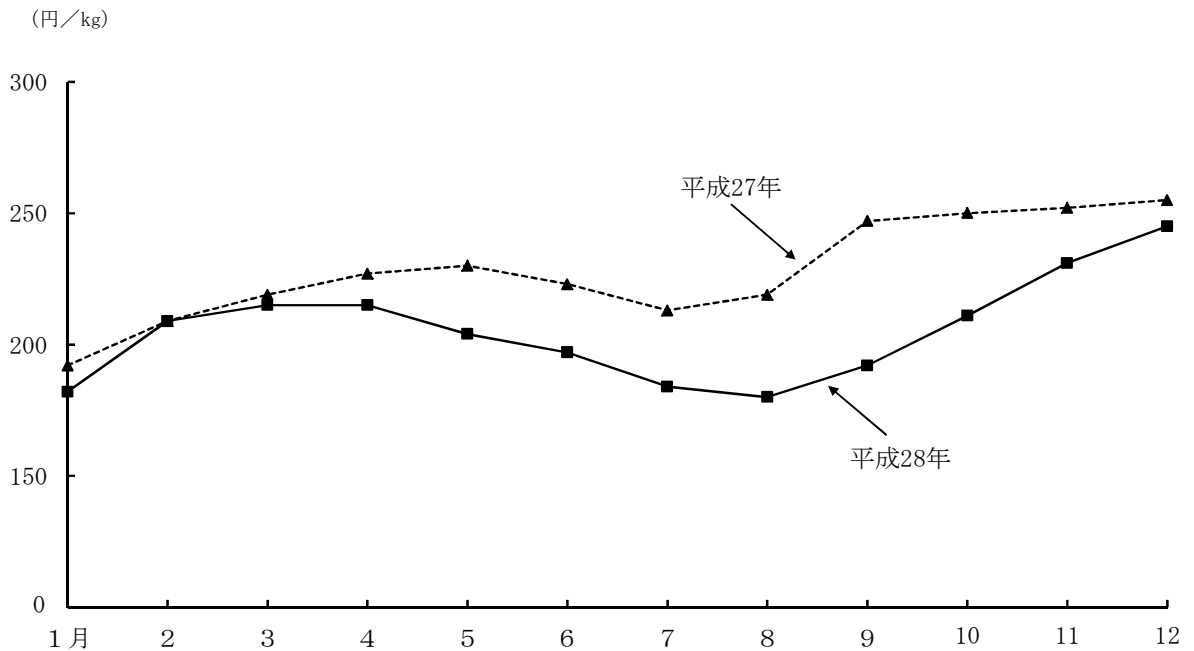


図6 鶏卵の月別生産量の推移（全国）



(参考) 卸売価格（鶏卵市況情報）

図7 鶏卵の月別卸売価格の推移  
（東京全農系、M規格、中値）



資料：農林水産省統計部「鶏卵市況情報」

### 3 食鳥流通の動向

食鳥の処理羽数は、肉用若鶏が6億7,733万2千羽、廃鶏が8,098万4千羽で、前年に比べそれぞれ1.6%、3.7%増加したが、その他の肉用鶏が606万羽で前年に比べ0.5%減少した。

また、処理重量は、肉用若鶏が200万9,269 t、廃鶏が14万3,051 t で前年に比べそれぞれ1.8%、3.1%増加したが、その他の肉用鶏が1万9,585 t で前年に比べ0.6%減少した(表11)。

表11 食鳥処理量（年間処理羽数30万羽以上の食鳥処理場）

区 分	単位	食鳥の種類		
		肉 用 若 鶏	廃 鶏	そ の 他 の 肉 用 鶏
処理羽数（生体）				
平成27年	千羽	666,859	78,112	6,090
28	〃	677,332	80,984	6,060
対前年比	%	101.6	103.7	99.5
処理重量（生体）				
平成27年	t	1,973,461	138,809	19,704
28	〃	2,009,269	143,051	19,585
対前年比	%	101.8	103.1	99.4

注：年間の処理羽数30万羽以上の処理場のみを調査対象として実施した結果である。

### 食鳥の処理羽数及び処理重量の推移（全国）

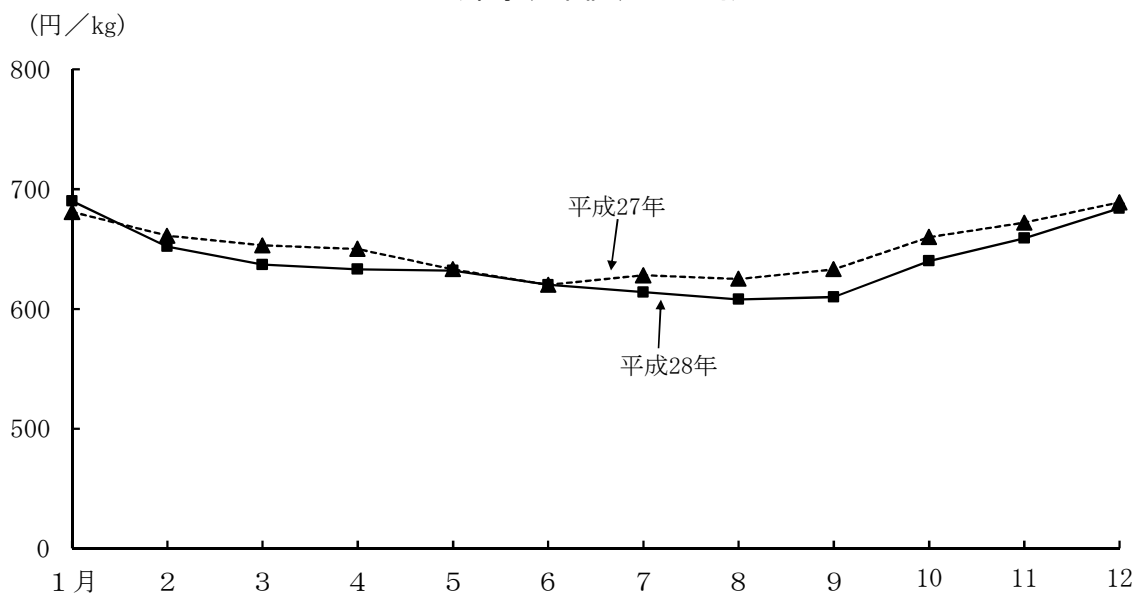
年次	肉用若鶏				廃鶏	
	処理羽数		処理重量		処理羽数	
	全ての 食鳥処理場	年間処理羽数 30万羽以上の 食鳥処理場	全ての 食鳥処理場	年間処理羽数 30万羽以上の 食鳥処理場	全ての 食鳥処理場	年間処理羽数 30万羽以上の 食鳥処理場
	千羽	千羽	t	t	千羽	千羽
平成19年	622,834	...	1,754,396	...	93,928	...
20	629,766	...	1,787,278	...	93,090	...
21	634,692	...	1,826,543	...	94,224	...
22	633,799	...	1,835,091	...	91,081	...
23	617,176	609,664	1,783,393	1,761,025	88,879	78,603
24	649,629	645,064	1,889,158	1,875,212	90,656	80,841
25	653,999	651,303	1,905,255	1,896,920	86,227	77,112
26	661,030	658,483	1,946,449	1,938,606	87,359	79,141
27	...	666,859	...	1,973,461	...	78,112
28	...	677,332	...	2,009,269	...	80,984

年次	廃鶏（続き）		その他の肉用鶏			
	処理重量		処理羽数		処理重量	
	全ての 食鳥処理場	年間処理羽数 30万羽以上の 食鳥処理場	全ての 食鳥処理場	年間処理羽数 30万羽以上の 食鳥処理場	全ての 食鳥処理場	年間処理羽数 30万羽以上の 食鳥処理場
	t	t	千羽	千羽	t	t
平成19年	165,107	...	8,577	...	26,410	...
20	163,363	...	9,573	...	29,476	...
21	165,232	...	9,060	...	28,468	...
22	158,665	...	7,849	...	24,582	...
23	154,004	135,347	8,006	6,132	24,901	19,433
24	159,691	141,869	8,231	6,255	26,021	20,268
25	147,056	130,461	8,410	6,398	26,335	20,482
26	155,219	139,990	8,365	6,196	26,517	20,088
27	...	138,809	...	6,090	...	19,704
28	...	143,051	...	6,060	...	19,585

注：平成27年調査から、調査の対象を全ての食鳥処理場から年間の食鳥処理羽数30万羽以上の処理場に変更した。  
このため、年間処理羽数30万羽以上の食鳥処理場の平成26年以前の数値は、年間の食鳥処理羽数30万羽以上の食鳥処理場を対象に新たに集計した結果である。

(参考) 卸売価格 (食鳥市況情報)

図8 ブロイラーの月別卸売価格の推移  
(東京、中値、もも肉)



資料：農林水産省統計部「食鳥市況情報」